

コンバインドサイクル発電設備の特徴

1. エネルギー利用効率の高い発電システム

ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた発電システムで、燃料ガスの熱膨張エネルギーによる力でガスタービンを回転させるとともに、ここで生じた高温の排出ガスから熱を回収して蒸気を発生させ、蒸気タービンを回して発電します。

これにより、現在建設中のガスタービン単独、あるいは従来の蒸気タービン単独での発電と比較して熱効率が高く、エネルギーの有効活用が図れる発電システムです。

2. 窒素酸化物（ NO_x ）が低減

ガスタービンには低 NO_x 燃焼器を採用するとともに、脱硝装置を設置することにより窒素酸化物が低減します。

3. 温排水量が低減

ガスタービンと蒸気タービンにより発電しますが、ガスタービンは温排水を排出しないため、同じ電気出力を得る場合、蒸気タービンのみで発電するシステムと比較して温排水量が低減します。

以 上